

今夜7時から
西成市民館3階
(西成署向う・大崎公園側)
毎週金曜日

みんなでつくろう
みんなの会館
三人よれば何とかの知恵

夜間学校ニュース

西成区萩之茶屋 2-5-23
解放会館3階 釜の争議団発行
連絡先 釜崎夜間学校

運動への参加・行動について

署名・デモ・仲間の中の一人であること

一匹狼をまごりたがる人は、こかくメダカは群れたがる。なごとうそぶいて人と共同歩調をとることをきらうそぶりをみせます。運動あるいは組合などについて、ケツ、こいねんばかりです。広辞苑で運動の項を見ると、その④に、目的を達するために活動すること、とあります。

今日釜崎には、日雇健
康保険法の廃止に反対し、特別措置の維持拡大を目的とする運動があります。日雇健保は現在、釜では九千人強の仲間が利用しており、運動の成否に利害関係が直接的な方たちであるといえるでしょう。センターでおこなわれた反対署名には三千九百四十名の仲間が名を連ねられました。

いえるかどうか判りませんが、自分で判断し、身体を動かしたことは確かです。約四千名の仲間が、一つの目的を達するために、足並みそろえて、共同行動をとった、ということにはまちがいないでしょう。

四月十三日の府庁までのデモは、覆師の交差点までは歩道の随行者を合せて、百五十名から二百名のデモであったと思います。そこから先は七十名のデモ。デモも署名と同じく、目的を達するための行動の一つですが、署名よりもより直接的であると思えます。それは自分の肉体を使って、多くの人にさらして、自分の意志・考えを伝えているからです。

署名の数はともかく、デモ参加者の数は、あまり多くない、いや、はっきり、少ない、と思えます。

一匹狼をまごりたがる人に言わせれば、だから最初から俺は一人がいい、と言うところでしょうか。日健にからた利害は、署名という行動に踏み切らせるだけのもので、アブレヤ仕事をほかして、デモに行くほどのものはなかつた、ということでしょうか。四千名はすばらしく、七十名はすばらしくない、のでしょうか。釜の日雇の一人であること、デモの中の署名の中の一人であることは、

四千人署名が生みだした情況と

行動力が決め手の今後の話

一日健康止反対・みなし適用維持拡大斗争中内報告

先週の夜間学校は、釜日労争議団の集会に合流しました。

日健康止反対、わしらのいのちと健康を守る闘い、に対する

関心は高く、約五十名の仲間が参加し、久し振りに熱のこもった集会となった。

最初に、四月に入って始まった反対署名活動から府庁デモまでの経過報告がなされた。

センターで呼びかけられた反対署名には約四千名の仲間が参加した。署名するにしても、随分と

分とリキまなければならぬ仲間、当然のこととスナなり署名する仲間、ともかく、一人一人

の歴史が力になっている。これまでに、釜ヶ崎の労働者は、自分達自信の力で暴力手配師達をやっつけ、そのエネルギーは、時として暴動の形で噴出した。その闘い、エネルギーは寄せ場以外で、それぞれを持ち場で闘う人達の注目するところであった。

昨年、昨年の春の青カンをよぎなくされた仲間に対する中学生の差別虐殺事件を契機に釜ヶ崎差別と闘う連絡会が結成されたが、それに結集したのは、釜の闘いに注目していた人々だった。さて、署名はどこに出してき取しくないものとしてこのつたが、これまでの釜の闘いが直接に相手とぶつかるといふやり方が得意であったために、署名を有効に生かす闘い方には不馴れであった。

にもかかわらず、仲間の意志を国会へ届けられたのは、釜ヶ崎差別と闘う連絡会に加わっている、部落解放を闘う仲間が力を貸してくれたからである。まず、自力自闘の歴史があり、そこから連帯が広がる。今後、行政斗争が続くが、多くの連帯する仲間の力添えがあるにしても、それに頼る形での闘い方を続けるならば、釜の闘

い誰からもソツポをよかれるであろう。やはり、闘いは、自分自身からまず立ち上り、直接、体をぶつける、というやり方が本流となっていなければならぬ。そういう意味では、十三日の府庁デモの参加者は、多かつたか、少なかつたか！その後、質問を受けたが、まだみなし適用とは何か、という質問が出る。情宣不足。健康保険がなくなる、というところは判っているが、そのこまかいことがわかっていない、ということのようだ。討論のあと、メーデー、あるいは予定されている厚生省や府との交渉などに、多くの仲間が積極的に参加するよう呼びかけられた。あなたまかせはだめよ、ということ。